

2026年4月開設 工学部ロボティクス学科に

人とロボットの心をつなぐ設計者・マハズーン・ハーメド氏が就任

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、2026年4月に人間とAI・ロボットの共生社会の実現に貢献する人材を育成することを目的に、工学部ロボティクス学科を開設します。このたび、新たにロボティクス学科の教員として、2026年4月1日付で、マハズーン・ハーメド氏・博士（工学）が就任します。

生成AIを起点とする急速なAIの進化により、人とロボットが共生する社会が近づいています。本学のロボティクス学科は、機械工学に加えて電気電子工学、計測・制御工学、AI・情報工学などを統合的に学び、社会で活用できる知識と技術を体系的かつ実践的に修得できるカリキュラムを特徴としています。

マハズーン・ハーメド氏は「人とAIが関係を築く未来の社会設計」を研究しています。高齢化・教育格差・多言語対応といった社会課題へ対応するため、孤独対策として注目される対話型ロボットの導入や、ASD児童支援に活用される感情理解型ロボット、さらには公共空間での多言語対応ロボットなどの研究を通じて、「AIとどう話すか」ではなく、「AIとどうわかり合うか」という問いに挑んでいます。「ロボットをつくる」だけでなく「人の役に立つ技術を考える」マハズーン氏の研究は、教育・福祉・医療・国際交流など多分野での応用が期待されています。

本学科には、AI研究の第一人者である松原 仁をはじめ、人間とロボットのより良い関わり合いを研究する、ヒューマンエージェントインタラクションの先駆的研究者などが在籍しており、今後、様々な専門性を持つ教員陣が集うことで、学生や社会に、ロボティクスの未来を切り拓く新しい価値の提供を目指します。

●Mahzoon Hamed（マハズーン・ハーメド）氏プロフィール

博士(工学)。1984年、イラン・ペルシャ州生まれ。

2019年大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻 博士号取得（工学）

2019年大阪大学先導的学際研究機構 特任助教

2026年京都橘大学工学部ロボティクス学科准教授



●専門

人間・ロボットインタラクション（HRI）、認知発達ロボティクス等



工学部
ロボティクス学科
特設サイト

●研究概要

孤独・高齢化・教育格差・多文化共生といった現代的課題に対し、ロボットが「話す」だけでなく「聴く」ことで人と人との関係性を支える存在となる、人の感情に寄り添うAIの設計を目指す。孤独対策として注目される対話型ロボットの導入、ASD児童支援に活用される感情理解型ロボット、公共空間での多言語対応ロボットなどを通じて、社会と接続する実装を進めている。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：前川、立木 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp